



## 息を合わせて跳べ！

100回以上跳びました

羽須美中学校体育祭 長縄跳び

9月  
定例会  
特集

今月の  
注目！

- 議決を得ずに教師用指導書購入 (5)
- おおなんきらりエネルギー決算報告 (6)

# 重点事業は完遂されたか

## 決算審査

### 邑南町の財布の中身は？ 財政指標等のようす

(単位：万円)

年度区分	令和4年度	令和5年度	対前年度増減率	
標準財政規模	70億5131	70億1653	△0.5%	
経常収支比率	91.4%	93.6%	2.2P	
健全化判断比率	実質赤字比率	—	—	
	連結実質比率	—	—	
	実質公債費比率	13.2%	12.5%	△0.7P
	(単年度)	13.0%	12.3%	△0.7P
	将来負担比率	79.7%	89.4%	9.7P
職員数	216人	208人	△8人	
人件費	18億724	17億7082	△2.0%	
人件費比率	13.0%	11.2%	△1.8P	
物件費	15億1027	13億8237	△8.5%	
普通建設事業費	25億2209	37億8779	50.2%	

9月定例会を9月3日から13日までの会期で開催し、令和5年度決算を認定しました。決算認定以外の議案は「議案のゆくえん」(8ページ)を参照ください。

決算は、一般会計、特別会計ともすべて黒字となりました。また、水道事業会計も、収益、費用共に減少しましたが、1273万円の純利益を計上し、未処分利益剰余金は6112万円となりました。

決算審査は、9月5日、6日の2日間、連合常任委員会にて審査しました。

令和5年度のテーマに沿った重点項目事業を中心に、事業執行内容や予算執行率などについて質しました。他にも、不納欠損額、収入未済額や、3月専決補正の減額補正と繰越金の額についての考え方も問いました。

主な質問項目を記載します。

- 久喜銀山、林間学舎の整備活用状況
- 子どもの居場所づくり事業の進捗状況
- 教育支援センターの利用状況
- 食の学校の維持経費
- 子どもまるごと相談室関連事業の実施状況
- 予防接種の接種率
- 防災士の養成状況
- 窓口改善についての職員の意識改革
- DX外部人材サポート事業の予算執行状況
- 病院移送サービスの実施状況
- 地域包括ケアシステムと高齢者つどいの場の進捗状況
- ひきこもり支援事業の実施状況
- 資産経営課設置後の資産管理状況
- 脱炭素先行地域づくり事業の予算執行状況と、お
- おなんきらりエネルギー株式会社
- 地域コミュニティ研究事業の予算執行状況
- 道の駅「邑南の里」のテナント募集状況
- タクシー助成の利用状況
- 羽須美地域伝統スポーツの里づくり構想の策定状況と施設整備
- 農福連携事業の進捗状況
- 里山整備事業の制度拡大の考え
- 観光推進事業の進捗状況
- 地産地消事業の予算執行状況
- 女性に働きやすい農場づくり事業の成果
- 道路維持事業の実施状況
- 水道事業の有収率



質問の多かった「子どもまるごと相談室」の相談コーナー



監査報告を行う森脇義博代表監査委員

# 町の持続的発展のために、 将来を見据えた財政運営を

## 森脇代表監査委員の決算審査報告

令和5年度は「持続可能な社会づくり、SDGsの追求」を予算編成のメインテーマに掲げ、多くの幅広い事業が実施されました。新型コロナウイルス感染症は5類に移行し、いくらか平常を取り戻しつつある年となりました。普通会計の決算規模は、大型建設事業が本格化したことなどで前年度より拡大しています。

決算状況において、普通会計、特別会計の実質収支はいずれも黒字となっています。各決算指標は、標準財政規模の動きで「上昇」したものの、「下降」したものととして「悪化」や「改善」と判断されています。審査の結果は、決算係数に相違なく適正に執行されたものと認めました。いずれにしても、自主財

源が2割を割る本町は、厳しい財政事情は避けられません。町が持続的発展をしていくためには、将来を見据えた適切な財政運営が求められます。さらに、「公共施設等総合管理計画」等の着実な実行も必要です。また、「地方公営企業法」を適用している水道事業会計は、今年度も前年度より少ないものの当期純利益を

計上しました。これは、他会計補助金が大きい営業外収益が営業損失を吸収したためです。水道事業は、町民の生活に直結しているため、中山間地域の厳しい条件の中にも、一層の経営努力による健全性・効率性の確保が望まれます。

### 令和5年度会計別決算収支

(単位：万円)

会計名		決算額		
		収入	支出	差引
普通会計	一般会計	156億6801	152億5357	4億1444
	電気通信	5億8864	5億6523	2341
	小計	162億5664	158億1879	4億3785
公営事業会計	国民健康保険	12億5147	12億3996	1150
	直営診療所	1億2509	1億2016	493
	後期高齢者	3億8177	3億7761	416
	下水道	11億1866	9億2280	1億9586
	小計	28億7699	26億6054	2億1645
総合計		191億3363	184億7933	6億5430
4年度		170億1446	165億9273	4億2173
3年度		166億5992	163億6088	2億9904
2年度		174億5282	171億7798	2億7484
元年度		157億4032	154億6719	2億7313
30年度		150億9392	148億2981	2億6411

### 令和5年度水道事業会計決算収支

(単位：万円)

水道事業	収入	支出	差引
収益的収入・支出	4億2513	4億55	2458
資本的収入・支出	3億6897	5億8040	△2億1143

注) 表の金額は万円単位で表示していますが実際の決算はすべて円単位までとなっています。千円単位で四捨五入していますので合計が一致しない場合があります。

## 邑南町の貯金は？ 積立基金のようす

(単位：万円)

	基金名	4年度末 現在高	決算年度中増減額		5年度末 現在高
			積立額	取崩額	
一般 会計	財政調整基金	6億8945	4億1932	0	11億 877
	減債基金	20億6481	1億7909	1億6437	20億7953
	まちづくり推進基金	9715	22	1240	8497
	地域振興基金	15億6488	0	0	15億6488
	その他特定目的基金	8億4144	1億9044	3億2588	7億 600
	合計	52億5772	7億8907	5億 265	55億4415
特別 会計	国民健康保険事業基金	1億1023	1174	1708	1億 489
	生活排水処理事業基金	3046	0	3046	0
	下水道事業基金	3664	0	3664	0
	電気通信事業基金	1億1600	3566	734	1億4431
	合計	2億9333	4739	9153	2億4920
総合計		55億5105	8億3646	5億9417	57億9334

## 邑南町の借金は？ 地方債のようす

(単位：万円)

	会計名	4年度末 現在高	決算年度中増減額		5年度末 現在高
			発行額	償還額	
一般会計		133億8228	33億2500	15億2381	151億8348
特別 会計	直営診療所	1億9914	0	2232	1億7683
	下水道事業	43億2429	1億6730	4億 881	40億8279
	電気通信事業	3億5500	2億6750	609	6億1641
合計		182億6072	37億5980	19億6102	200億5950

## 国や県からの歳入財源の推移（一般会計）

(単位：万円)

項目	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
地方交付税	65億6664	62億3746	59億7932	58億7856	59億2266	62億5339	62億4152	62億6966
国庫支出金	9億 747	7億7809	8億5716	8億3450	24億5458	15億2881	14億1899	18億 63
県支出金	9億4022	8億8716	9億1649	10億2494	10億3522	10億6801	14億8934	10億7504

# 議決を得ずに備品購入

## 教師用指導書の購入

議決を得ずに教師用指導書などを購入していたことが明らかになり、教育長が陳謝し、最終日に財産の取得の追認を求める議案が追加提案されました。

他の自治体で、議会の議決を得ずに教科書や指導書を購入していた事案が報道されました。この報道を受け、過去の契約を確認したところ、令和2年度、6年度の教師用指導書及び教

科書等の購入契約について、町条例で定まっている700万円以上であるにもかかわらず、議会の議決を得ていないことが判明しました。

単価が少額であることから、議会の議決に付さなければならぬ財産には該当しないと誤認し、議会の議決が必要であるという認識が不十分でした。

再発防止策は、予算編成

## 議案の訂正

井原地区の4つの自治会が統合に向けて協議を重ね、令和6年9月30日をもって解散し、10月に「井原自治会」が発足することが合意されました。

今までの自治会館の指定管理期間を9月30日までと

し、条例において設置している施設を廃止する議案が提出されましたが、施行期日を間違っていました。議会運営委員会で、経過と対策を話し、議案の撤回又は訂正かを協議の結果、議案の訂正で認めると決まりました。

過程で該当案件の把握、チェック体制の強化、議決が必要な契約については、迅速かつ適切に議会に付する手続き、法令解釈に関する研修を通じて再発防止を徹底しますと説明がありました。

金額は、令和2年度747万6932円、6年度1545万9478円で

2つの議案は全員賛成で可決しました。



事故後に改修された遊具

# 町長 報酬を減額

令和4年香木の森公園の鉄棒事故の際に、町長、副町長の報酬減額を報酬審議会に諮問しましたが、減額率が適当であるか判断できないとして、見送る結論でした。

今回、香木の森公園事故と合わせて、5年8月に「瑞穂ハイランド」で発生した児童死亡事故の管理責任を

明確にするため、町長、教育長の減額改正案が示されました。

町から報酬審議会へ諮問し、6年8月審議会が開催されました。事故については、慰謝料又は損害賠償等の額について協議が継続している状況です。事故の背景には「行政として適切な安全管理体制の構築を怠っていた」という事実があり、管理者自身への処分として給料月額を減額しようとするものです。

答申は提案どおり、町長20%及び教育長10%の給料を2か月の減額が妥当であると判断されました。

議員からの「減額に関して根拠はあるのか」という質問に対し、「根拠となるものは無い、他自治体の事例も参考にしながらの判断である」と回答がありました。

# 安定経営には道半ば

## おおなんきらりエネルギー 決算報告

邑南町の創生をめざした再生可能エネルギー事業である「おおなんきらりエネルギー株式会社」の立ち上げから3期目となる令和5年度の決算報告がありました。負債は3億4000万円余、純資産はマイナス1162万円余、当期純損失は823万円余となっています。

小売電気事業は、自社での供給ができるように進めており、

今後PPA事業の普及を進め顧客の開拓に取り組みながら、小売電気事業の体制を確立していくと報告されています。

議員からは、町長が社長とな



PPA事業で設置された太陽光発電施設

っているが、退任後は次期町長が交替して就任となるのかや、当初のエネルギーの自給自足という目的が果たされる見込みはあるのか、債務超過の解消時期などの質問がありました。



建設工事が進む道の駅「邑南の里」

## 開業をめざし着々と

駐車場の融雪設備工事も順調に進んでおり、本体建設等工事も基礎部分が完了し、9月下旬から鉄骨の建方工事にかかります。

この度、建物周りの外構工事（排水構造物や防護柵、植栽など）を、1億428万円（有）町田土建との工事請負契約を承認しました。

議会からは、テナントの募集は町がするのか指定管

理者がするのか、決定権は町にあるのかとの質問がありました。

また、道の駅再整備事業は長期に渡る事業で、建物が完成しても、既存建物の取り扱いなど、関連するものも含めて全体的にどのくらいの費用がかかるのか、見込みでもいいから示すべきとの意見があり、執行部からは提出すると返答がありました。

## 地方交付税を減額補正

邑南町のような地方自治体にとって主要な財源となる地方交付税が、今回は7500万円もの多額の減額補正となりました。

財務課からは、毎年算定根拠が変わることを見越して当初予算を組んでいるが、実年度に算定される段階で、差が出ることもある。

今回は、当初考えていなかった下水道費算定方法の変更による基準財政需要額の減額や、臨時財政対策債発行可能額が増えたこと。さらに、基準財政需要額に対する調整控除も多かったことにより、減額となったと説明がありました。

議員からは、今回は繰越金でカバーしているが、そうでなければ財政調整基金の取り崩しをしなければならぬ。国に対して、的確な算定の申し入れはできないのかなど、意見がありました。

## 請願

訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出について（請願）

不採択



総務教民常任委員会  
平野委員長

この請願は、島根県自治体労働組合総連合執行委員長 塩冶隆彦氏、しまね介護福祉ユニオンBONDS執行委員長 石田忍氏から提出されたものです。総務教民常任委員会では、結果、介護報酬の改定は、

拘束力のあるものであり「撤回せよ」という請願は受け入れがたく、賛成意見はありませんが委員会としては不採択としました。

ただし、介護報酬引き下げによる町内事業所の運営が非常に厳しい状況にあることが確認されていることから、国に対し、地方の実情を考慮した報酬の再改定を早急に行うことを求める意見書の提出をすることに、委員会の総意として決しました。

学校給食の無償化を求める意見書提出について（請願）

不採択

この請願は、邑南町学校給食費の無償化を求める会代表 鍵本和雄氏により提出されたもので、小中学校等の給食費を無償化するよう国に対し意見書の提出を求めたものです。

邑南町では、現在も食材費の補助はされており、こ

れまでの議論でも無償化にするには財政的に難しいと答弁をされています。しかし、町ができないから国に求めていくことは短絡的すぎ、賛同できないとして委員会としては不採択としました。

ただし、今後の学校給食のあり方など、議会でも十分な議論を重ね執行部に対してを申し入れる等の対応の必要性については一致しました。

国に対し、「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める請願

採択

この請願は、日本国民救済会島根県本部会長 中尾光良氏より提出されました。「冤罪被害者」を救済するために、再審の規定について改正を求める意見書の提出を要望するものです。委員会の議論では、可

## 意見書

介護報酬の基本報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書

否の判断が難しいという意見もありましたが、冤罪をなくすという趣旨には全員が賛同し採択としました。

刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書

設規模や人材などの面で資源に乏しい事業所では、十分な加算が受けられない事業所もあり、事業の継続が困難となっている。よって、都市部の有利な条件の事業所をモデルにするのではなく、地方の規模の小さい事業者の実情を考慮した見直しを要望する。

今年、厚生労働省社会保障審議会によって決定された介護報酬の引き下げは、都市部の収益率の高いサービス付き高齢者住宅や大手事業者の収益率を考慮してなされたものである。邑南町のように介護を担う人材が不足しているような地方の自治体にとっては、介護事業を担う事業者の大きな負担となっており、介護報酬改定後の法人等の運営に大きな影響が出ている。

また、処遇改善加算は施

再審法制における証拠開示制度の確立、検察官の上訴制限が焦点の課題であり、誤った有罪判決を受けている無辜の者を迅速に救済するために、以下の通り再審法制の改正を行うよう強く求める。

再審請求人の求めに対し、検察が有する証拠の全面開示を法整備すること。再審開始決定に対する検察の不服申し立て（上訴）がいたずらに行われることがないよう制限を加えること。

# 討論

令和5年度邑南町一般会計歳入歳出決算の認定

反対

日高八重美 議員



令和5年度の歳入歳出差引残額は、約4億円の赤字だ。2年度決算額とから比較すると、年々赤字額が増加している。また、民生費、衛生費、農林水産費、教育費の不用額も毎年増額し、5年度の合計は約4億円だ。

自治体は黒字をだすことを目的とした組織ではなく、財政を使って住民の生活を向上させることが役割である。黒字が伸びているのであれば、それを住民の福祉に回す、税の負担を減らすなどの施策があってもよいのではないかと思う。以上のことから、認定に反対する。

令和5年度邑南町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

反対

日高八重美 議員

令和5年度の医療分の本算定では国保税は少し引き下げになった。しかし、滞納額は2040万円もあり、79世帯が滞納だった。国民健康保険の加入者の多くは、農業者や自営業者、非正規雇用の方々だ。高い国保税を払いたくても払えない人もいる。苦労しながら払っている人や、どうしても払えなかった加入者の実態を調べ、誰もが払える国保税にすべきと思い認定に反対する。

# 書面質問

7月5日提出  
7月12日回答  
日高八重美 議員

問  
マイナ保険証を持たない人への対応は。

町内でのマイナンバーカードの保有率、マイナ保険証の取得率と利用率は。マイナンバーカードを取得しない場合はどうなるのか。

答  
マイナ保険証を持たない方へは「資格確認書」を交付する

町内のマイナンバーカードの保有率（令和6年6月末）は80・2%、国民健康保険のマイナ保険証の取得率（6年5月末）は69・4%でマイナ保険証の利用率は15・7%。  
マイナ保険証を持たない方へは「資格確認書」を交付する

# 9月定例会議案のゆくえ

決算認定以外の主な議案を紹介します。

「人事案件」は、人権擁護委員の推薦に関して町長が意見を求めるもので、「意見なし」としました。

「職員定数条例の一部改正」は、教育委員会の事務局の職員定数を3人増やし47人とするものです。

「特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正」は、町長と教育長の給与を2箇月間カットするものです。（5ページ参照）

「条例の一部改正」と「災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正」は法律の改正に伴うものです。

「振興計画審議会条例の一部改正」は、審議会委員の構成から議会議員を除く

ものです。

「自治会館、多目的集会所及び農村公園条例の一部改正」と「指定管理期間の変更」は井原地区の自治会の統合に伴うものです。

「工事請負契約の締結」は、道の駅瑞穂再整備事業外構工事と石見中学校校庭外構整備工事です。

「財産の取得」は小学校教師用指導書等の購入を承認するものです。（5ページ参照）

「一般会計補正予算第4号」の歳入の主なものは、地方交付税の減額（6ページ参照）、繰越金の追加、財政調整基金繰入金の減額などです。

歳入の主なものは、減債基金の追加、観光庁「地域観光新発見事業」の事業費などです。

特別会計補正予算は、繰越金の追加です。

「請願」は4件を審査し、1件を採択、2件を不採択（7ページ参照）、1件を継続審査としました。

委員会発委は、意見書の

提出が2件ありました。  
「介護報酬の基本報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書」と「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」です。(7ページ参照)

# 7月臨時会 議案の ゆくえ

7月臨時会を7月31日に開催し、補正予算案1件を全員賛成で可決しました。  
また、「おおなんきらりエネルギー株式会社」の経営状況について報告がありました(6ページ参照)。  
「一般会計補正予算第3号」は、国の行う定額減税の事業費、20周年記念イベント支援事業費、町議会議員補欠選挙費などの補正です。

## 9月定例会 全員賛成にならなかった議案

○=賛成、●=反対、- =除斥、欠=欠席

区分	議案の内容	奈須	鍵本	野田	日高	瀧田	平野	和田	宮田	漆谷	中村	辰田	結果
決算認定	令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	認定
	令和5年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	
条例	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
請願	訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書提出について(請願)	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	不採択
	学校給食費の無償化を求める意見書の提出について(請願)	●	-	●	○	○	●	●	●	●	●	●	

## 令和6年度7月、9月補正

	当初予算の額	6月補正後の額	7月補正額	9月補正額	9月補正後の額
一般会計	159億5100万円	160億9703万円	1794万円	1億5297万円	162億6794万円
国民健康保険	12億9300万円	13億2035万円	-	2660万円	13億4694万円
直営診療所	1億3850万円	1億3860万円	-	278万円	1億4138万円
後期高齢者医療	4億1200万円	4億1200万円	-	26万円	4億1226万円
電気通信	5億2100万円	5億2100万円	-	595万円	5億2695万円
特別会計合計	23億6450万円	23億9195万円	-	3559万円	24億2753万円
総合計	183億1550万円	184億8898万円	1794万円	1億8856万円	186億9548万円

## 令和6年度水道事業会計9月補正

		当初予算の額	6月補正後の額	9月補正額	9月補正後の額
収益的収支	収入	4億 3万円	4億 33万円	-	4億 33万円
	支出	3億9494万円	3億9494万円	13万円	3億9507万円
資本的収支	収入	4億6921万円	4億6921万円	3477万円	5億 399万円
	支出	6億4427万円	6億4427万円	3674万円	6億8101万円

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

※下水道事業会計の補正はありませんでした。

# いっぱん 質問

## 質問者と質問内容

順番	議員名	質問内容	ページ
1	奈須 正宜	(1) 中学校部活動の地域移行 (2) 体育館の空調設備 (3) 小中学校のホームページ (4) 防災士	11
2	瀧田 均	(1) 農業振興 (2) 町営バス	12
3	野田 佳文	(1) 最期まで安心して暮らすために (2) ふるさと納税 (3) 議員のなり手不足と選挙改革	13
4	日高 八重美	(1) 健康保険証廃止後の対応 (2) 高齢者の聞こえの調査結果 (3) 地域包括ケアシステムの課題	14
5	漆谷 光夫	(1) 町長5期20年の総括と自己評価 (2) 認知症施策の充実 (3) 稲作農業の対策	15
6	平野 一成	(1) 教育環境の現状 (2) フィンランドとの交流の今後	16
7	中村 昌史	(1) 「まちづくり基本条例」の成果と課題	17
8	鍵本 亜紀	(1) 日本一の子育て村 (2) 邑南町の農業	18
9	宮田 博	(1) 行財政改善の状況 (2) 事業推進と財源	19
10	辰田 直久	(1) 地区別戦略事業 (2) 来年度事業の予算配分 (3) 事業の効率性	20

一般質問とは・・・議員が町の行財政全般について、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。通告制であり、本町では一問一答方式、制限時間60分としている。

## ガツテン!! 一般質問

以前一般質問についての研修会があり、「どの自治体でも10月から11月に、来年度の予算編成を考えるから、提案や改善を求める意見については、9月議会で見ない」と、講師の方が言われていました。邑南町の議会においても、9月の定例会に一般質問する議員が多いです。

町民の方の意見を反映させ、提案、改善について質問していきます。しっかりと来年度の予算編成に反映するよう質問しますが、すべてを執行する予算がないのも現状で、なかなか納得のいく答弁がないこともあります。

奈須 正宜 記

なすまさよし  
**奈須正宜** 議員

## 小中学校にホームページの開設を

### 課長 学校と相談しながら進めている

**奈須正宜議員**

町内の小中学校には、学校の様子や、情報発信するホームページが日貫小学校にしかない。小中学校にホームページを開設することで、不登校の生徒には、学校行事や授業風景、イベントなどの様子が見えることで学校への興味を持ってもらえることや、地域の方、学校関係者、保護者には、学校の様子が見えることで、地域とともにある学校づくりにもつながると考える。

もと、ホームページにアップすることで、学校の先生方の事務作業の軽減にもつながる。

町外の方への情報も学校外観写真と住所しかわからない状況だが、ホームページを開設し情報発信することで、移住施策にもつながると考える。町の考えは、

**植田学びのまち総務課長**

各学校と相談しながら、ICT支援員が連携して取り組む。ホームページ開設に向けて、ICT支援員がサポートを行い、デザインのひな形を作成するなどの具体的な準備を進めている。

児童生徒の視点で情報発信を行うことで、不登校の生徒や保護者が、学校や、社会とのつながりを感じ、登校の再開に繋がればと考えている。

**奈須議員**

ホームページの開設について今後、進めていくという方向性が。また、ICT支援員2名で業務量が補えるのか。

**植田学びのまち総務課長**

11校全てにおいて一律に開設するのは難しい。学校と相談しながら、取り組んでいく。ICT支援員は地域の活動もされているので、その業務と並行した形での業務遂行になるが、可能である。

**その他の質問**

この他に奈須議員は、体育館の空調設備について避難所の観点と運動施設とい

う事から、状況改善について質問し、植田学びのまち総務課長は、費用や維持費がかかるため大型扇風機の設置が即効性のある選択肢である。利用者の声や現状を確認しながら利用状況と優先順位を考慮して設置に努めていきたいと、答弁しました。

また、中学校部活動の地域移行と防災士についても質問しました。



コーチから指導を受ける石見中学校野球部

たきた ひとし  
**瀧田 均** 議員

# 若い就農者を増やすべき

## 課長 関係機関と連携し推進する



**瀧田均議員**

現在、取りまとめられている地域計画で10年後の農業課題が把握できるのか。

**小笠原産業支援課長**

地域計画は現在集約中だが、この地域計画で10年後の課題が把握できると考えている。

**瀧田議員**

農産物生産に対する地方公共団体の責務や将来にわたる農業振興を考えた時、特に若い世代の方が儲かる農業を確立し、地域の農産物を多様に提供できる環境整備を取り組むべきと思うが農産物生産をどう考えているか。

**小笠原産業支援課長**

若い世代の方が「儲かる農業」や「魅力ある農業」と感じていただくようであれば、町の主要産業としての農業の維持や振興は図れないと考えている。

農家の所得向上や農産物の有利販売をめざして、地域に適した安全で高品質な多様な農産物の振興を図っている。具体的には、水稲では「ハーブ米」の生産を、水田園芸等では「白ネギ」「ブロッコリー」の振興に力を入れている。

また、令和2年度からは高収益品目のブドウ「神紅」の生産を島根県の支援により開始し、JA等の関係機関と連携した生産者支援により生産拡大を図っている。

今後関係機関と連携・協力して、多様な品目の生産に向け農産者の条件に適



ドローンの活用実験

した経営面・技術面の支援を図りながら、「儲かる農業」「魅力ある農業」と感じていただけるような所得向上策を図っていきたい。

**瀧田議員**

スマート農業を取り入れることで若者に関心と就業意欲を高めてもらうには、中山間地においてもできるだけ圃場を大区画化することが有効と考えるが、邑南町で国の土地改良事業は取り組むことが出来るか。また、邑南町は大区画化をどのように考えているか。

**上田建設課長**

現在、邑南町が実施している区画整備事業については、県事業として「農業競

争力強化農地整備事業」「畑作等促進整備事業」「農地有効利用支援整備事業」がある。国の整備事業は、面積要件が400ha以上であるため中山間地ではハードルが高いと考えている。

**小笠原産業支援課長**

農業従事者が減少する中において、邑南町の農業を維持していくためには作業効率の高いスマート農業等の新技術を導入しやすい圃場の大区画化は有効と考える。

補助事業等において、区画整備や機械整備を導入しやすいという観点から、町は関係機関と連携しこれまでに以上に農業者や農地所有者をはじめ関係する皆さんに農地の集積等についてご理解ご協力いただくよう努める。

### その他の質問

**瀧田議員**は「町営バスの無乗車運行の是正をすべき」との提案で質問しました。

の だ よ し ふ み  
**野田佳文** 議員



# 『あんしんノート』の普及啓発を

## 課長 普及に力を入れていく

**野田佳文議員**

1人暮らしの高齢者の増加に伴い、見送る人がいなくなってしまうケースが全国で発生しており、行政の役割は大切である。邑南町での無縁遺体の実態と対処方法は。

**秋田町民課長**

無縁遺体については、墓地埋葬法において、ご遺体を引き取る相続人やご親族がいない場合、死亡地の市町村がご遺体を引き取り、火葬や埋葬を行う。実態としては、過去5年間で2件の火葬を行い、しかるべき方法で納骨をしている。

**野田議員**

生前の終活は大切である。邑南町版終活支援ノート『あんしんノート』の利用状況と普及啓発について問う。

**坂本医療福祉政策課長**

8月末現在、約380冊を配布し、出前講座を通じて4回地域に出かけて行き、町民の皆さんから大変興味を持っていただいている。

普及にも力を入れ、より使いやすいものとなるように継続して検討していく。

**野田議員**

神奈川県横須賀市の『エンディングプランサポート事業』のような死後事務委任契約に相当する制度の導入は、町民の安心な生活を支える重要な取組みである。亡くなった時に、自分の意思を尊重した葬送してもらえ、自治体側にとっても、生前に葬儀や火葬に関する契約を結び、費用を事前に支払うことで、遺族や自治体への負担を軽減し、無縁遺体の問題を予防

することができる。

死後事務委任契約に相当する制度の導入を提案する。

**坂本医療福祉政策課長**

邑南町社会福祉協議会で

は、頼れる家族などがいない方について、ご本人が判断できる間に邑南町社会福祉協議会と契約をし、日ごろの見守りや、認知症などで将来ご自身が判断できなくなった後のことについて支援する『あんしんサポート事業』を実施している。町としては、『あんしんノート』の普及啓発や活用の取組みを行いながら、今回の提案について社会福祉

協議会と連携し、『あんしんサポート事業』をはじめ、

町民の皆さんが最期まで安心して暮らすための取組みについて考える上での参考にする。

### その他の質問

この他に野田議員は、ふるさと納税のポータルサイトにある自治体情報の更新や、ふるさと納税の活用報告を求め、小笠原産業支援課長が進めると答えました。

また、議員のなり手不足と選挙改革についても質問しました。



『あんしんノート』の画面町のホームページからダウンロードもできます

ひだかやえみ  
日本共産党 日高八重美 議員

# 健康保険証廃止後の対応

## 課長 町民の声に耳を傾け対応



**日高八重美議員**

令和6年12月2日から、現行保険証の発行が終了になる。マイナンバーカードの取得は任意であるにも関わらず、国はなぜ健康保険証を廃止してカードとの一体化（マイナ保険証）を強要するのか。

**秋田町民課長**

本人の同意のもとで他院での薬や診療情報、健診結果を医師が確認でき、高額な医療費は手続きなしで窓口負担が軽減されるなどのメリットがあるので、町としても推進している。

**日高議員**

マイナンバーカードの普

及のため、現行の保険証との一体化を義務化しようとしている。現行の健康保険証で困っていないのに個人情報管理されることへの不安感があるのではないかと。カードを持たない人への対応はどうするのか。

**秋田町民課長**

現行保険証の有効期限が切れる前に「資格確認書」が交付される。詳細については、広報等で周知をしなから説明をしていく。

被爆者手帳や重度医療受給者証などは、現行どおりだ。

**日高議員**

現行の健康保険証廃止に伴う町民からの声にはどのような対応をするのか。

**秋田町民課長**

マイナ保険証のメリットを説明しているが、紐づけが解除ができることも説明している。町民の声をしっかりと聞き対応している。

**日高議員**

医療を受ける権利を保障できるよう、町民の声を集約し国にあげていくこと



マイナカードの相談は町民課です

くことも大事なことで、しっかりと対応してほしい。

**問** 高齢者の聞こえの調査結果は

**調査結果は**

**日高議員**

後期高齢者への聞こえの調査結果と島根大学からの提案の内容は。

**答** 広く啓発を

**行うことが必要**

**岩井保健課長**

令和5年度に、本人や家族が聞こえにくさを早期に気づいて、早めに医療機関へ相談していただくことを目的に後期高齢者の健診に合わせ聞こえのアンケート調査を行った。

調査では、26・9%の方が何らかの困りごとがあると答えている。

島根大学との協議では、若い頃から耳の聞こえについて意識し、難聴を予防するための啓発が必要であるとの意見があった。

**日高議員**

難聴は認知症の危険因子の一つと言われている。聞き取り調査は高齢者だけでなく、幅広い年齢層に対しても早期発見ができるよう実施してほしい。

**その他の質問**

**日高議員**は、地域包括ケアについて、残された課題は何かと質問しました。

うるしだにみつお

漆谷光夫 議員

# 5期20年の総括と評価は

## 町長 公平公正な町政運営



漆谷光夫議員

町長は間もなく任期満了を迎えられるが、町政のリーダーとして5期20年の総括と自己評価を問う。

石橋町長

5期20年間、特に公平公正をモットーにどこかに偏ることなく町政を運営して、町の基本理念である和やかな町を実現し、継続する思いでやってきた。

最初の公約で周辺部を大事にしたいと浜田作木線の改良を進め、小中学校の統廃合もしなかった。

町の人口は1万人を切っているが公立邑智病院、県立の矢上高校と石見養護学

校、進出企業

8社、社会福祉施設、浜田自動車道、2つの産直市、

鉄道公園など

小さな市に負けない財産や資産を20年間、何とか守り発展に力を注いできた。

評価は後世

の人々に決めていただくものだと思う。

漆谷議員

次期町長に引き継ぎたいことや町民、職員、議会への思いについて問う。

石橋町長

次期町長に引き継ぎたいことは「公正な行政運営、町民目線でまちづくり基本条例の趣旨を尊重、すべての子どもに学びの保証」この3点を特に申し上げたい。

皆さんへの共通する思いは、課題解決は他人事ではなく自分ごとと考え、対応することが大事だと思う。



地域医療の核 邑智病院完成

20年間、さまざまな議案を提出してきたが、ほとんどの議案に賛成をいただき、町政も大きな混乱もなくやってこられたことに過去に在籍された議員の方々も含め、お礼申し上げます。

### 問 認知症施策の充実を

漆谷議員

国は認知症の人や家族の意を尊重し、共生社会を推進するための認知症基本法を今年1月1日施行した。また、国は認知症施策の

### 答

#### 充実を進める

基本計画案をまとめ、各自治体にも計画の策定を求めている。本町も認知症施策の基本計画を策定し、さらに認知症施策の充実を図る取組みが必要と考えるかどうか。

坂本医療福祉政策課長

今後は国が示す認知症施策の基本計画とそれに伴う県の施策の展開などを踏まえ、町として改めて必要な施策を整理、検討する必要があると考えている。

認知症施策の基本計画の策定については認知症施策の充実が図れるよう、進めていきたい。

### その他の質問

その他に漆谷議員は、水稻の作付面積の減少や深刻な稲作農業者の高齢化、担い手不足、資材高騰などの対策について質問しました。

ひらのいっせい  
平野一成 議員

# ギガスクール構想の現状は

## 教育長 ICT支援員の配置で進めている



平野一成議員

人口減少が続く中で、さまざまな取組みを行っているが、将来の良き隣人としてこれから邑南町を担ってくれる子どもたちの教育環境を整備することは、直接的ではないが、貢献できるのではないかと。

そこで、ギガスクール構想が始まって数年が過ぎたが、現在の状況はどうなっているのか。

植田学びのまち総務課長

現在は、全ての小中学校で児童生徒に情報端末が配備され、授業でも活用が始まっている。校内ネットワークおよびWi-Fi環境整備

も完了し全教室で子どもたちがタブレットを活用し、調べ学習に熱心に取り組んでいる。

平野議員

家庭における通信環境整備や持ち帰り学習の現状はどうか。

植田学びのまち総務課長

家庭における環境については、後年調査した結果で、通信環境は概ね整備されているという結果だが、今年度改めて各家庭にアンケートを取る考えでいる。

平野議員

ギガスクール構想に沿って、子ども達のスキルアップと先生方の指導力の向上が進んでいるのか。

植田学びのまち総務課長

これまでは、授業でのICTスキルを支援するICT支援員が不在であった。現在では2名の支援員を配置し、定期的に学校訪問をして教育現場の要望に応じたサポート体制を整備している。

平野議員

ICT支援員は、小中学

校に加えて地域の課題についても関わるようだが、2名で充分対応できるのか。

大橋教育長

現在、各学校を訪問して具体的な提案を行っている。学校によって要求・要望は異なるが、学校が自立できるように支援員が促していく。ただ、本格的なICT教育の推進のためには、今後の増員も必要かと思っている。

平野議員

邑南町の将来を担っていただく子どもさんたちの学

習環境整備（学力だけでなく、自分たちの「個」を見つめるため）のためにはさまざまな状況に対応して、適切に対処してほしい。

### その他の質問

平野議員は、他にも全国学力テストの結果公表について質問しました。それに対し、大橋教育長は答弁の中で、小規模校では、個人が特定される恐れがあるなど公表することのデメリットへの危惧を示されました。

また、フィンランド共和国との交流に對しての今後の町の考え方並びに、10月に来町されるフィンランドの高校生の受け入れ態勢の現状について質問をいたしました。

### ギガスクールでの授業風景



なかむらまさふみ

中村昌史 議員

# まちづくり基本条例の再確認を

## 町長 もう1回立ち返って考える



**中村昌史議員**

まちづくり基本条例について問う。

まず、協働という観点から、現在教育委員会で進めているコミュニティスクールの進め方について、これは協働と言えるか。

コミュニティスクールのめざす姿を地域に伝えて、地域と一緒に考えていくことが大切だ。

**大橋教育長**

制度設計は教育委員会で進め、それを各地域で地域と共に作成をしていくという流れを考えている。

**中村議員**

現在の情報が地域に出て

こないことが課題だ。

そこで、情報共有という観点から、デイキャンプ事故検証委員会の報告書の取扱いについて問う。3月に報告書が提出された時点で、町民と共有すべき情報であるとの認識はなかったか。

**大賀総務課長**

事故検証委員会が公開で開催されたこと、検証委員会の会議録をその都度、ホームページで公開していたこと、報告書は同日付で、ホームページに公開したことなど、その都度情報は公開してきたので、一定の共有は図られていたと考えている。

**中村議員**

情報の公開と情報の共有は違うことだ。一方的な公開では情報共有とは言えない。

次に、コミュニティの育成について問う。こ



検証委員会の報告書を提出される中村委員長

これは、合併以来、夢づくりプランから現在の地域運営組織の育成まで、その時期に応じた対応がおおむね評価できる。今後は、地域ごとの差異にどう対応するか

が課題かと思う。

**田村地域みらい課長**

地域運営組織は12公民館区ごとで、それぞれの差異があることは十分承知している。移行する地区に対して、来年度以降には交付金を準備する。

**中村議員**

今、まちづくりをコミュニティで行おうとしている

わけだから、それに対応する町の組織づくりも必要ではないか。

**白須副町長**

地域のさまざまな課題に対応できる機構づくりは、必要だと認識している。また、横断的な組織づくりについては、検討をしたい。

**中村議員**

その組織を担う職員は、まちづくり基本条例の考え方が根底にないと、その地域に対して対応ができない。この条例について、職員の意識改革は。

**大賀総務課長**

まちづくり基本条例に限らず、年間を通じた職員研修を実施している。

**中村議員**

この基本条例ができた当時の町長の思いと、現状に対する考えを問う。

**石橋町長**

この条例は、私の町長になるときの公約でもあった。改めて、まちづくり基本条例の意味をもう1回立ち返って、職員に理解させる必要もあると思う。

かぎもとあき  
**鍵本亜紀** 議員

# 「日本一の子育て村」の評価は

## 町長 小児科や産婦人科の維持ができた

**鍵本亜紀議員**  
退任を控えての、今までの「日本一の子育て村」への評価と反省点、やり残したことは。

**石橋町長**  
命の大切さを一番に考えてきた私としては、邑智病院の小児科や産婦人科の維持が大きい。出産時からの成長を見守る保健課などの取組みは、「日本一の子育て村」最大の強みであり、矢上高校の存続も重要だ。課題としては、子育て世代にインパクトのある発信をしたい。小中学生への英語力を強化し、邑南町では小中学生みんなが英会話が



できるようになればいいと思っている。子ども条例のもと具現化していくことが大切だ。

**鍵本議員**  
町民には「日本一の子育て村」の認識がない印象だ。私たちが大人として今生きている以上、次世代への恩返しは必然だ。  
A級グルメが町民の理解を得られていなかったとして、地産地消と食育の第2ステージに進むということだったが、進捗状況は。

**小笠原産業支援課長**  
町内農産物直売所の売上も伸びており、給食への町内産物の供給も伸ばしている。来年度は医療福祉施設でも地域おこし協力隊を活用し、地産地消を拡大していく。

**原学びのまち推進課長**  
学校給食での地元食材の活用は、関係者の熱い思いとともに進められており、保育所では食事の作法の指導や、小中学校での地域での農作業への参加など、食育の方向性を示しながら進

めている。

### 問 有害鳥獣を資源として活用

**鍵本議員**  
以前も同じ提案をして、近隣施設との連携、町内施設の有効活用を進めると答弁があったが、その後どうなっているか。

### 答 今後の研究が必要

につながらない。鹿は食べる習慣が今までなかったため、今後研究が必要だ。

**鍵本議員**  
農水省が、有害獣を資源と捉えての地産地消を推奨しており、学校給食への利用を進めている。最近は新聞報道などでも話題になっているが、邑南町では前向きでないようだ。皆さん被害に困っているし、廃棄するのでは忍びない。ぜひ食肉として活用する流れをつくってもらいたい。

### その他の質問

**小笠原産業支援課長**  
前は無かったが、民間により日和地区に解体処理施設ができています。狩猟期間であれば美郷町に2箇所引き取ってくれる所がある。イノシシは豚熱の感染確認地域であるため、収益

その他に鍵本議員は、農業大会に何を期待するかを問い、農業の楽しさを町民に知ってもらいたいと答弁がありました。



自然の中で育まれる  
邑南町の子どもたち

みやた ひろし  
宮田 博 議員

# 持続可能なまちづくりは

## 課長 行財政改善の着実な実行



**宮田博議員**

第1次行財政改善計画については、一定の成果を上げたとしているが、町長の「はじめに」と本文中の「評価」では表現が異なる。

組織機構の改編、定員適正化の推進、事務事業の見直しについてはどのような成果を上げたのか。

**大賀総務課長**

組織機構改編の成果については、現時点で2課を減少したほか、働き方改革では、フレックスタイム制度の導入、内部統制に取り組んでいる。

定員適正化計画は、10年度末の職員数を200人と

する目標を掲げ進めている。

事務事業の見直しについては、重点施策の通常業務化等を進めているが、今後もし引き続き検討を進める。

**宮田議員**

取組みが進んでいない項目で、進まない原因と今後の取組み方針は何か。

**大賀総務課長**

現状の事務に固執することなく、職員一人一人が高い倫理観に基づき、慎重に適切な事務を進めなければならぬと考える。

**宮田議員**

第2次行財政改善計画は、今年度上半期において、着実に実施しているか。

**大賀総務課長**

職員を対象に財政研修会を開催し、公共施設等総合管理計画、第2次行財政改善計画等について理解の浸透を図った。

**石橋町長**

目標に到達しないのは、詰め甘さもあるが、目標は高めに掲げることが必要であり、達成できなかった

ことを深掘りし、議論をすれば解決策は出てくる。

教育委員会の組織のあり方についても、新たな視点で議論すべきと思う。

**宮田議員**

事務事業は、地方自治法に基づき事業を推進しなければならぬが、本議会に普通交付税7500万円の減額補正予算が上程されたが、自主財源に乏しい財政構造であるが、本年度の財源は確保しているか。

**三上財務課長**

予算編成方針にも地方自治法2条第14項の条文を明記しており、各課は適切な見積りや積算を行い、事業費の要求を決めている。

普通交付税については、6月末に総務省から算定結果通知を受け、算定方法の公

開がなく、今後も増減の可能性はある。

本議会に上程した補正予算については、町債、一般財源を充当しないように予算措置を行っている。

**宮田議員**

町民の皆さんからの要望や、施設管理に要する財源の確保はしているか。

**三上財務課長**

中期財政計画や、その後の財政推計により財政運営を行っており、短期的には対応できている。

町民の皆さんからの要望等については、優先順位を付けて順次実施している。



決算監査の講評

たつたなおひさ  
辰田直久 議員

# 地区別戦略事業 どう生かす

## 課長 地域運営組織の活用を



辰田直久議員

最終年度を向かえる地区別戦略事業の目的や目標は何だったのか。また、各地区内での活動実態の認知度や事業の執行状況と内容の精査、取得した財産の取り扱いを含め事業で得た成果を次年度以降にどのように生かすつもりか。

田村地域みらい課長

まず実現事業として共に支え合う共助の仕組みづくりと地域コミュニティの自立促進を目標に公民館単位で策定された。発展事業では多様な団体と協働の形を模索し、人口減少対策に限らない地域課題への対応

を目的として、年度末の事業報告会や県立大学の学生による取材を冊子や動画にまとめ認知度は高まっていると感じている。

また、補助金対象のチェックや執行状況の確認は適時行い、今後も備品については適切に管理されると思われる。事業終了後は補助金がなくても、自己資金や事業収益の確保の重要性とともに各地域の課題解決に向けた研究を続けていきたい。その過程で地域運営組織の形成による住民主体の地域づくりに繋がりたいと考えている。

問 来年度予算の編成時期と方法は

辰田議員

町長の改選時期が絡む来年度事業はどのように算定されるのか。

答 新旧執行部の二段階方式

邑南町からのお知らせ



三上財務課長

10月末の新町長就任を待っているのは来年度予算編成が間に合わないもので、10月中に骨格予算として義務的経費や投資的経費など、継続が必要なものに限定した予算編成を行う。そして、新町長就任後に基本方針を踏まえ予算編成説明会にて要求を取りまとめるため、来年度予算編成は二段階で行うこととなる。

辰田議員

新町長の決定前に大半の来年度事業を決めておくのは公平感に疑問を感じて質問したが、たとえば既に来年4月に霧の湯温泉再開を決定した広報を作成しているのは大きな問題ではないか。9月末締め切りの応募業者の書類申請、10月の指

定管理予定者決定の期日を含め、予算や条件などの議会承認がないまま進めているのは答弁にある予算編成の方針とも整合性がないが、来年4月の再開を断言できるのか。

白須副町長

最終的な予算等については議会のご理解をいただくところだが、来年4月再開のチラシは町民の意見を踏まえたものである。

その他の質問

この他に辰田議員は、石見中学校改築と周辺の道路整備や既存の道の駅の処分や借地の解消に計画性がなく、非効率で無駄な予算が発生していると質問しました。

配布された「霧の湯再開」の案内

## 産業建設常任委員会

# 岡山県久米南町他を視察

令和6年7月17日（水）～19日（金）に視察研修を行いました。各地の取組みは、邑南町でも参考になると思います。

## 岡山県久米南町

地域が主体になり、移住者の受け入れや地域づくりをめざす取組み。

下<sup>しも</sup>粉<sup>こ</sup>集<sup>じ</sup>落<sup>らく</sup>では、人に優しい農産物を意識し、野菜、花の多品目少量生産、有機農業を行っています。

田植え、野菜収穫、餅つきなどのワークショップ、積極的な情報発信、交流活動などが実施され、交流人口の受け入れ事業が移住決断の契機となり、限界集落から脱却しています。

## 岡山県和気町

移住者受け入れ体制と、無農薬町産米などの学校給

### 食への提供と食育。

移住を検討される方に、光熱水費を含む月3万円のお試し住宅が整備されています。また、民間の宿泊施設を利用した場合、宿泊費の一部を補助しています。2名体制で、移住相談を

受けており、土日祝、夜間の相談も対応しています。また、メリットだけではなく、デメリットも発信し、ミスマッチを防いでいます。

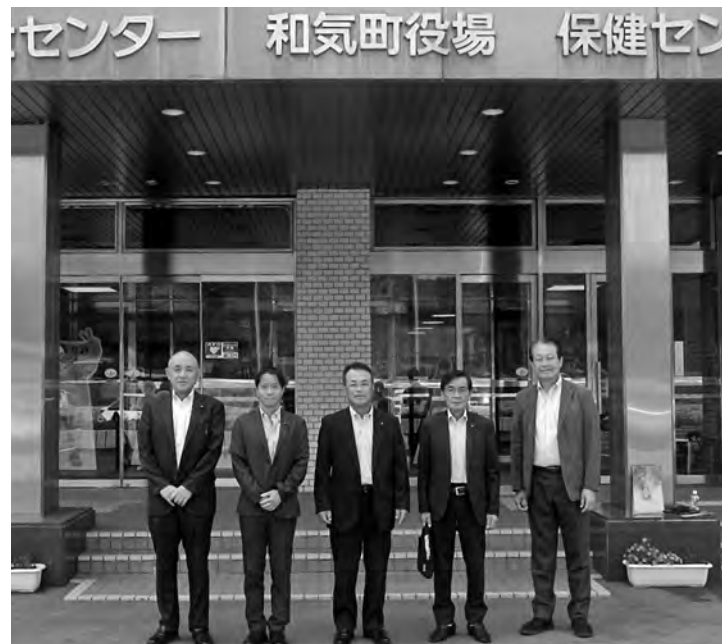
地産地消の大切さを伝えるため、学校給食に旬の食材や郷土料理、行事食を提供しながら、地産地消マップや農家の紹介動画、野菜の花クイズなどで、子どもたちに地元野菜への興味を持たせる食育をしています。

## 岡山県鏡野町

森林（もり）づくりセン



久米南町議会議場で説明を受ける委員



和気町役場にて

ターの取組みと、観光地域づくり法人（DMO）による観光推進体制の構築。

ルネスツーリズム』をめざしています。

## 環境省中国四国事務所

エコツーリズムを進める上での意見交換、交付金活用事例。

エコツーリズム地域活性化支援事業として交付金を申請・活用できる場合もあるが、マンパワー不足により、成果を見ることができていない自治体があり、交付金を得る場合、慎重に進める必要があります。

小学6年生を対象に、町産材を使用し自ら組み立てる学習機の導入（中学3年間使用し卒業時に持ち帰ることができ）、幼児用玩具等配布事業、町産材ヒノキ等を利用した備品など、森林資源を活用しています。

観光資源、地域経済の発展に官民一体で取り組んでおり、地域の資源を活用した新たなツーリズム『ウエ

# 第17回 意見交換会を開催しました

今年度も、たくさんの方にお越しいただきありがとうございました。今回は議会の都合により、お知らせしていた予定日に開催することができませんでしたが、改めてお詫び申し上げます。

例年どおり12地区の皆さんの声をたくさん聞かせていただいた中でも、多かった意見をご紹介します。

- 農業者の高齢化や担い手不足、休耕田、耕作放棄地の増加や、有害鳥獣被害の増加への不安。
- 空き家の増加と解体や利活用を望む声。公営住宅の家賃の問題。
- 公共交通のあり方。今後の不安。
- 小中学校の統廃合への是非。地域とコミュニティスクールの関係。

- 自治会の再編成。
- 食の学校、霧の湯の状況。
- 大型事業への投資。

各地区、それぞれ道路や施設への整備に関する要望や、除雪などへの声も多かった。除雪などへの声も多かった。また結果をお知らせします。

と考えて主張し、今後の邑南町を考えていくべき」とのお声をいただきました。

今回の意見をそれぞれ各常任委員会にて議論することになりました。その上で、必要なものは全員協議会でも議論をし、執行部に政策提言できればと考えています。また結果をお知らせします。

今回の意見交換会の報告書は、各公民館で閲覧できますのでぜひご覧ください。

## 三階席

酷暑が続く中、9月定例会を開催。議場の空調が不具合で扇風機が活躍。公共施設の老朽化が進む中、議場も例外ではない。公共施設の計画的な管理の必要性を実感▼上程議案の単純な日付誤記や条例で定める議会の議決を経ず購入した過去の財産取得の追認議案が提出された。確認作業の見直しが急務▼次世代を担う若い人の傍聴があり未来の力を感ずると共に議員としての責任の重さを痛感▼一般質問は議員が町政全般について執行部に質問できる貴重な1時間である。町長に20年の総括と評価を質問したが、町民に選ばれた自分自身の自己評価も忘れてはならない▼議員の任期も残り半年余りだが、「吾日に吾が身を三省す」の意味を噛みしめ、一日一日を振り返りながら職責を全うしたい。

(漆谷)



日和公民館での意見交換会



漆谷副議長

## 漆谷議員が副議長に就任

大屋光宏前副議長の辞職に伴い、7月31日の臨時議会において副議長選挙を行いました。

選挙の結果、後任には漆谷光夫氏が選出され、2度目の就任をされました。

# 町議会議員に なりませんか

## 来春に任期満了 一般選挙

議員は4年ごとに町民のみなさんによる直接選挙で選ばれます。町議会議員には、町内に3箇月以上住んでいる満25歳以上の選挙権がある方ならだれでも立候補できます。

現在の議員定数は13名、女性は2名で40代〜70代の議員が在籍しています。定例会は年4回（6月・9月・12月・3月）と不定期の臨時会、所属する常任委員会があります。

議員と町長は、どちらも住民代表で、両者は対等な関係です。町長には執行権を付与。議会には行政執

行の前提となる条例や予算等の議決権、行政執行の適正確保のための監視権を付与。議員には議会の機能発揮の担い手としての地位とその活動に必要な権限が与えられています。

議会は邑南町全体にとつて最善の政策実現を図るため、町長と対峙していくのが本来の役割です。議員は議会の一構成員であり、個々の議員が住民の意思を反映させるために、協同して議会の権限を行使しています。

邑南町のために議会活動をやってやろうという志をお持ちの方、立候補お待ちしております。

### 町民議会

### 今年も中止

一昨年から開催を始めた町民議会ですが、昨年度は8月の事故の影響で中止となりました。今年度は町長選挙もあり、執行部の対応が困難であることから中止とします。

## 大学生が見た議会 植田理央さん

今定例会に、夏休み帰省中の大学生が傍聴に来られました。感想を伺いました。

先日、初めて町議会を傍聴させていただきました。正直なところ、最初は長時間であり退屈するかもしれないと考えていました。しかし、実際に参加してみると、その印象は大きく変わりました。

まず驚いたのは、議会で話し合われている内容が意外と自分に身近なものであったことです。例えば、私自身も貴重な交通手段として時々利用させてもらっている町の路線バスについて

や、公共施設・学校の設備改善等々、想像していたよりも日常生活に直結する問題が議題に上がっていました。これらの議論を通じてなされる町の運営がどれほど私たちの生活に影響を与えているのかを実感しました。

また、議員の方々が住民からの要望や意見を議会で取り上げ、いかにして具体的な政策に結びつけようとしていくのかを目の当たりにでき、とても感銘を受けました。

今回の傍聴を通じて、町議会に今後も積極的に関心を持ち続けたいと思いました。

### 議会の傍聴に お越しく下さい

12月定例会は、12月2日からの開催を予定しています。一般質問だけでなく、全員協議会など傍聴できます。お気軽にお越しく下さい。

お問い合わせ先  
議会事務局  
TEL：0855-95-1113  
I P：050-5207-3021

### ご意見をお寄せください

この広報に限らず、議会のことについてご意見、ご質問などがございましたら、お気軽にご連絡ください。

### 広報公聴常任委員会

委員長 中村 昌史  
副委員長 日高 八重美  
委員 和田 文雄  
野田 佳文  
鍵本 亜紀  
奈須 正



Rからも寄  
Qかで見ま  
のドホ見れ  
ースマ意ら  
こコスごせ

# 伝統芸能をつなぐ

あなたの  
**声**



## 矢上地区 石見あらがね太鼓 にしかわ ゆうじ 代表 西川 有二 さん

石見あらがね太鼓、代表の西川有二さんにお話を伺いました。

**Q 結成時期と目的は。**

1986年4月に結成し、38年の歴史があります。わたらの里にこだまする勇壮な響き、先人達が営々と培ってきた偉大な功績を、若者たちが太鼓の響きで語り続けていくために結成しました。

**Q 主な活動内容は。**

週1回の練習と、町内外のお祭り・イベント・披露宴・小中学校などに数多く参加しています。今後も邑南町の活性化に努め、未来へ大きくはばたきながら、地元で伝統芸能を築いていきたいです。

**Q 魅力を団員の方に聞いてみました。**

太鼓を奏でるだけでなく、手の振りや角度を合わせるまで何度も練習し、一体感ある演奏で会場を盛り上げ、感動と達成感が感じられるところです。

団員同士の世代と文化を

超えた繋がりや強さが魅力です。

今回は、38年にわたる西川さんのあらがね太鼓に対する想いと、団員の繋がりや一体感、仲の良さが伝わる取材となりました。

石見あらがね太鼓では、邑南町を一緒に盛り上げていただけるメンバーを年齢、性別、国籍問わず随時募集されています。練習は、矢上交流センターで毎週火曜日19時30分から行われています。興味のある方は西川代表までご連絡ください。(携帯：09045716729)

聞き手 奈須 正宜



勇壮な演技と、仲の良い団員の皆さん

## 編集室の窓



広報委員会が特別委員会から常任委員会へ昇格になって1年が過ぎました。この間、広報研修や先進地視察などで研鑽を積んできましたが、なかなか抜本的な紙面改革には至っていません。それでも、88号からは文字を少し大きくし、少しでも読みやすい紙面になったかと思えます▼また、今年度から議会意見交換会の開催も担当しています。会の開催形態は今までと変わっていませんが、頂いた意見の中にも会の開催意義を問われるものもあり、今年から重要な事柄については所管する常任委員会で議論し、必要であれば全員協議会で議論することとしました▼町民議会は町長選挙もあり今年度は開催しませんが、他市町村のさまざまな取組みを参考にしながら公聴にも務めていきます。

(中村昌史 記)